

団体名
特定非営利活動法人
勇者の会

事業名

笑顔から始まる いのちの大切さ

活動拠点 札幌市を拠点に全道で活動

設立の経緯

代表の息子さんが白血病を発症した際、必要な支援を行っている団体が北海道内には見当たらず、自ら支援を始める必要性を痛感。同じ境遇の人を支えるため会を設立。

私たちはこのような活動をしている団体です



札幌市を拠点に、全道各地で小児がんや重い病気の子どもとその家族を支援しています。精神的負担の軽減や充実した生活を安心して過ごせるよう、学習支援や病院訪問を実施し、子どもたちとそのきょうだい、家族が交流する場を提供しています。



病気と闘う子どもに楽しいひと時と 「エールバッグ」のプレゼント

この事業の目的は小児がんや重い病気を抱えて闘病中の子どもたちに、ひと時でも痛みを忘れて楽しんでもらうことです。楽しい経験によってストレスや精神的不安を軽減し、体はつらくても心の健康を取り戻して、次の治療に立ち向かう糧にしてほしいという願いを込めています。入院中の子どもだけでなく、退院後の医療ケア中の子どもたちや病児の家族も活動の対象です。具体的な事業内容としては、北海道情報大学と協力し室内で海や山に出かけたような映像が楽しめる動画の撮影や、病院内で、函館の花火大会に行った気分になる動画の上映、ぬりえ水族館といったデジタルアート体験の実施、更に入院中や退院後に必要な品々を詰め込んだ「エールバッグ」のプレゼントを行い、子どもたちとその家族を応援し励ます活動を行いました。



子どもたちに笑顔を届けることで 家族や医療従事者からも感謝の声

上映会に参加してくれた子どもたちは長期間入院していて外出ができないため、さまざまな場所へ行った気持ちになれる今回の上映会体験をととても喜んでくれました。そんな子どもたちの嬉しそうな笑顔を見た親御さんや病院スタッフの方々からも喜びの声をいただき「やってよかった」という達成感を得ています。また「エールバッグ」には、子どもたちへのエールと共に、病気と闘う生活で必要な日用品などをまとめて詰め込んだことで、「今までにこういったものをもらったことがない」と患者さん側・病院側両方から大変喜ばれました。このエールバッグは世の中に必要とされているものだということを実感し、これからも積極的な贈呈活動を続けていきたいと考えています。

